

特定非営利活動法人 ふうどばんく東北 AGAIN

平成 28 年度 事業報告書

第 8 期

平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

平成 29 年 6 月 27 日 通常総会資料

目次

1	平成 28 年度 事業総括	1
2	フードバンク事業報告	2
2.1	支援方法	2
2.2	支援のべ人数	2
2.3	支援のべ件数	3
2.4	支援方法別（人数）	3
2.5	支援総重量	4
2.6	支援方法別（重量）	5
2.7	困窮種別（件数）	6
2.8	困窮種別（人数）	6
2.9	支援件数割合（個人・団体）	7
2.10	年齢別（人数）	7
2.11	地域別（支援件数）	8
2.12	利用回数別	9
2.13	連携団体一覧（定期支援団体、備蓄団体）	9
2.13.1	定期支援団体一覧	9
2.13.2	備蓄団体一覧	11
3	組織体制等	11
3.1	会員・ボランティア	11
3.1.1	会員数	11
3.1.2	ボランティア数	11
3.2	役員の状況	11
3.3	事務局の状況	12
3.3.1	事務所移転	12
3.3.2	事務局増員	12
3.3.3	リース車両導入	12
4	各種会議・イベント実施状況	12
4.1	フードドライブ実施	12
4.2	困窮者向け食事会実施	12
4.3	通常総会	13
4.4	臨時総会	13
4.5	理事会	13
5	助成金・寄付金状況	13

5.1 助成金事業受託	13
5.2 寄付金	13

1 平成 28 年度 事業総括

平成 28 年度に食糧支援した延べ人数は、5,593 名にのぼりました。これは、生活困窮者への支援の面からみても、また食品ロスの面からみても、非常に意義のある、大きな成果を達成したと言えると思います。

今年度は被災困窮者述べ 2,679 名に食糧支援をおこなっており、その数は全体の 48%にのぼりました。この数字をみても、東日本大震災から 5 年が経過する今もなお被災者の生活は厳しい状況にあるのが見て取れます。一方で、被災していない生活困窮者への支援数も同様に多く、今年度は述べ 2,322 名に食糧支援をおこい、その数は被災困窮者とほぼ同じの 42%にのぼりました。つまり、生活困窮は、被災者の方がやや多いものの、いまや全体的な社会現象と見ることができると思います。今年度、宮城県の生活保護受給者世帯数は 2 万世帯を超え、過去最多を更新している状況です。

もう一つ、支援記録を通して浮き彫りになったことに、子どもの貧困があります。当団体が支援した 20 歳未満の貧困者の割合は全体の 20%にのぼりました。この数は、日本全体の子どもの貧困率 16.1%をはるかに上回る数となっております。その他、フードバンクがまだ無い近隣の福島県への支援も 27 件おこなっており、困窮化の広がりは、ここ宮城県だけではないことや、全国でこのフードバンク活動の必要性を改めて感じました。以上の状況からも、当フードバンクの意味は非常に大きいものと改めて強く実感しました。

また、少ない人員の中で、より効率的に食糧を必要としている方へお届けできるように、被災者支援や生活困窮者支援、子ども食堂、子どもの学習支援、シェルター、炊き出しをおこなっている団体と連携をとり、それらの団体を通して、個人の方々へ食糧をお届けしてきました。そういった連携している団体の数は、98 団体にのぼります。今後も、県内全域のさまざまな場所で、多様な対象者に対して活動している団体と連携をとりながら、効率的に食糧を必要としている方々へ食糧をお届けできる体制ネットワークを築いていきたいと考えております。

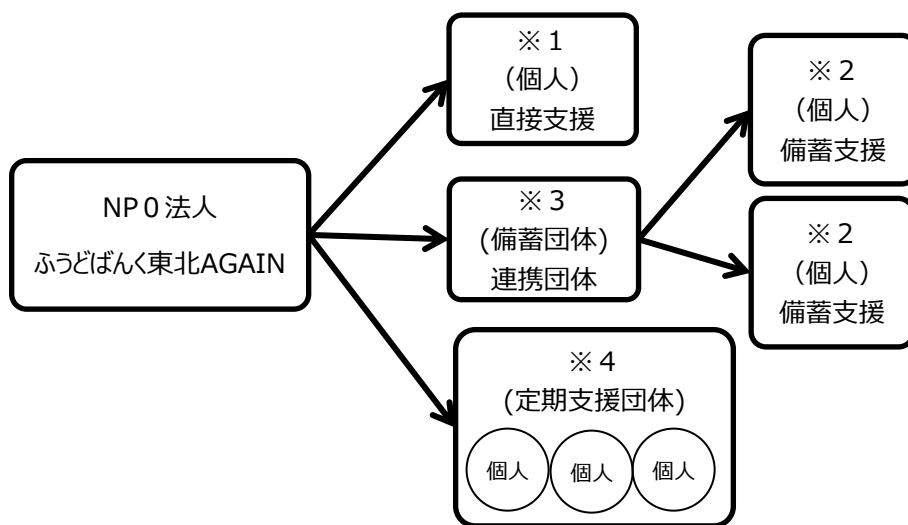
そして、今年度は 35 名のボランティアの方にご登録していただき、その中には毎週定期で活動に協力してくださる方もおり、とても助けられました。常勤 1 名という事務局体制でおこなっているため、ボランティアの皆さんのご協力無しにはこれだけ多くの支援要請に応えることは出来なかったと、心から感謝しております。また、昨年度に続き、寄付金を寄付くださった「野ばらの会」さん、「一般社団法人 WATALIS」さん、その他大勢の寄付金を下さった個人の皆様方にも深く感謝申し上げます。継続的に当団体の活動の趣旨に共感くださり応援して下さる皆様方の思いを大事にし、これからも、みな様からいただいた貴重な寄付金を大事に活用して、食糧を必要としている方々へしっかりとお届けし、食糧支援を通して“生きる勇気”をも与えられる、そんな活動を邁進していきたいと思っております。

また、これまで支援ケース記録を詳細に取れていませんでしたが、今後は障がいの有無や、病気の有無、生活保護受給の有無、家族構成などのデータも取り、より正確なデータを取ることで、説得力のある現実の数として、現状を広く伝えていく材料として活用していくと共に、このフードバンク活動の必要性や意義を社会に伝えていきたいと考えています。また、第 9 期は寄贈いただいている食品のデータ収集の整備も進めることで、現在は数で把握していますが、今後は重さや食品分類、提供していただいた企業・団体・個人の割合、などでもその傾向を把握し、より効果的に食品ロスをなくす取組みと、そして食糧を集められる仕組み作りを考えていきたいと考えております。

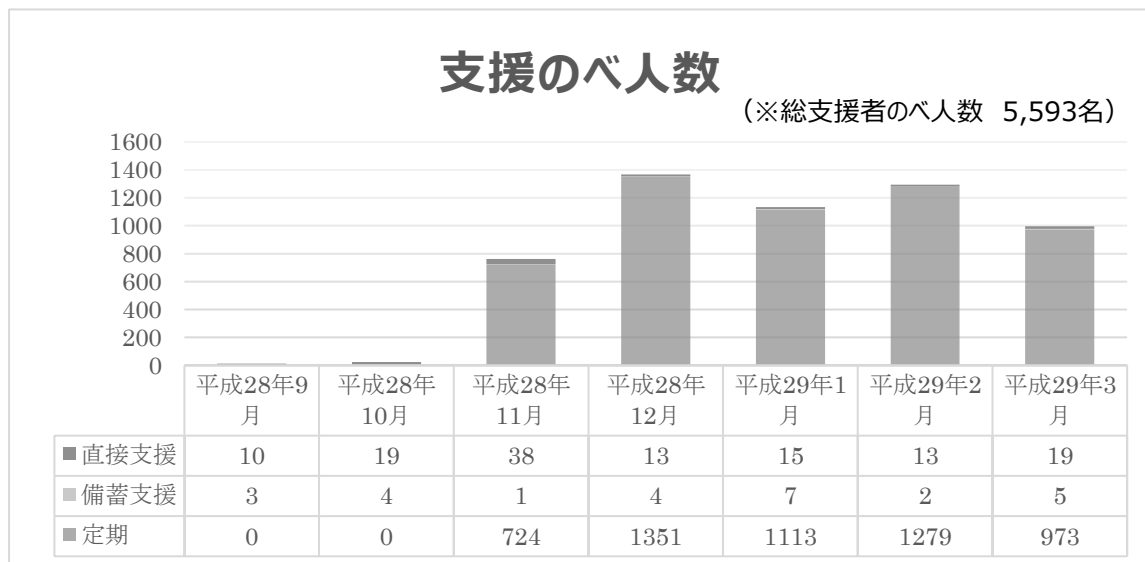
2 フードバンク事業報告

2.1 支援方法

- ※ 1. 直接支援 = 当団体が直接に食糧支援をおこなった個人支援ケース
- ※ 2. 備蓄支援 = 連携団体から食糧支援をおこなった個人支援ケース
- ※ 3. 備蓄団体 = 当団体と連携団体にある団体
- ※ 4. 定期支援団体 = 当団体が定期的に支援している団体



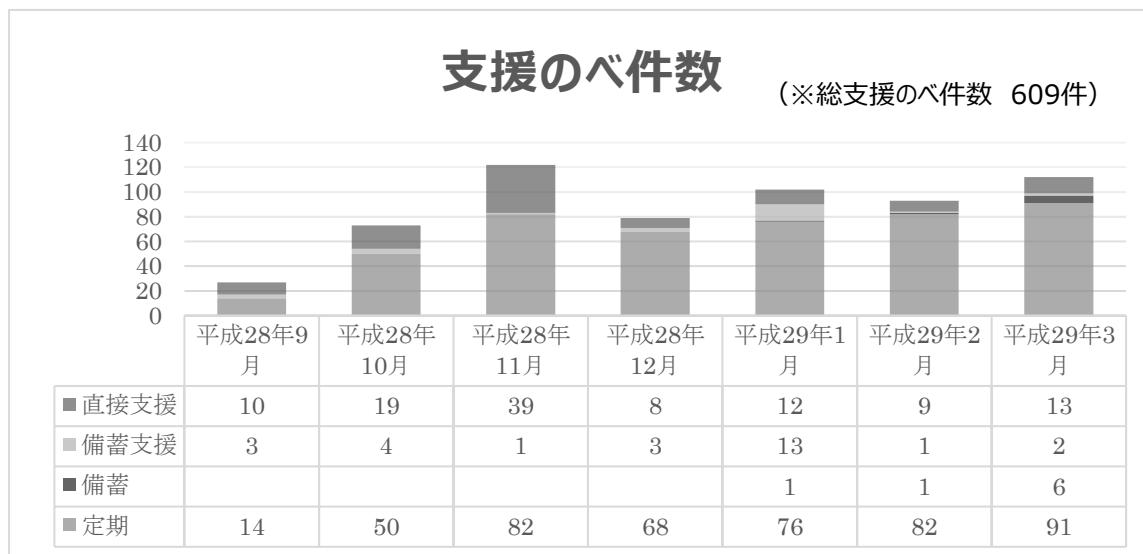
2.2 支援のべ人数



- ※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ
- ※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 4 の合計人数で計算

支援記録を取り始めた平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月の約半年間の 7 ヶ月間で、当団体が提供した食糧支援人数は述べ 5,593 名にのぼりました。多くの方の食事につながりました。

2.3 支援のべ件数

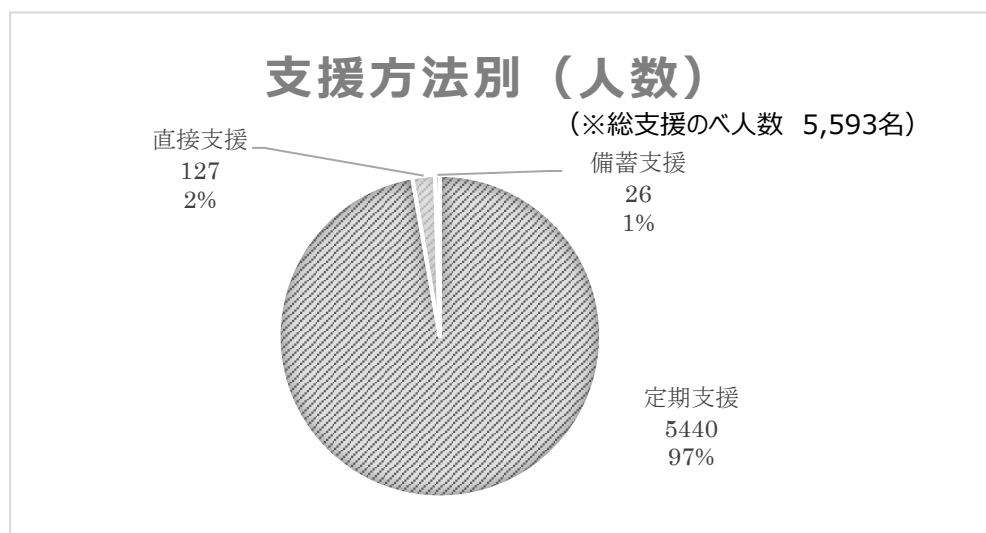


※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ

※ 上記の図「2.1 支援方法」の※ 1、※ 2、※ 3、※ 4 への支援件数で計算（3 人家族でも 1 件で計算）

支援記録を取り始めた平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月の約半年間の 7 ヶ月間で、当団体が提供した食糧支援件数は、述べ 609 件にのぼりました。

2.4 支援方法別（人数）

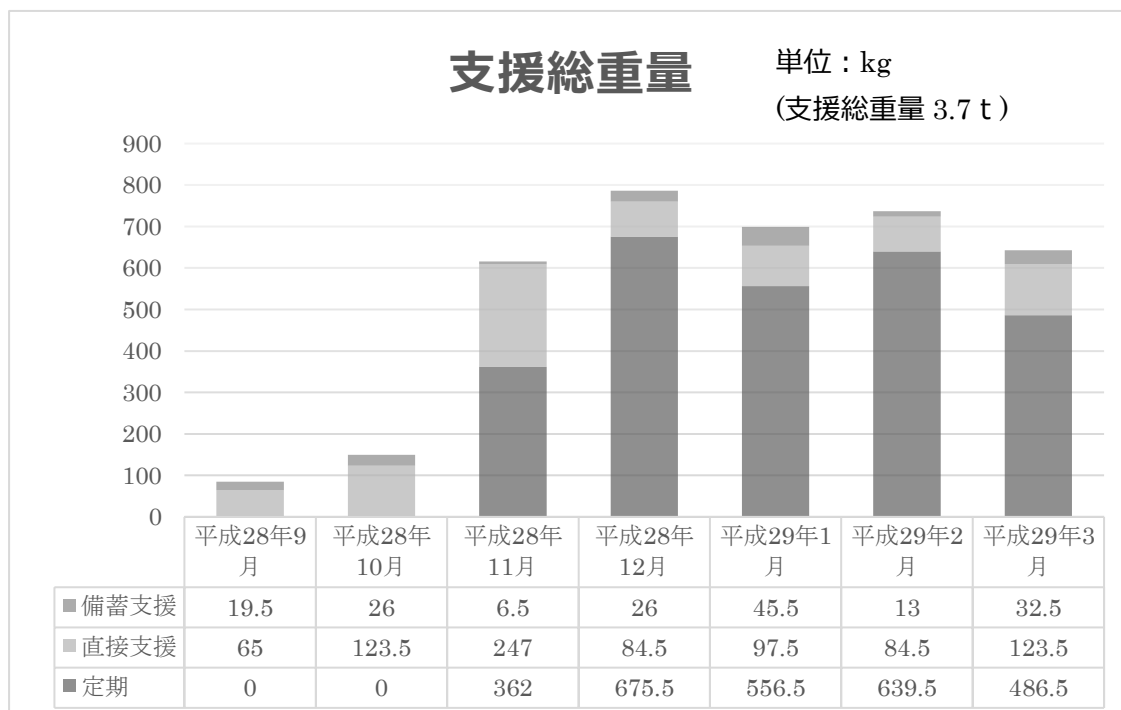


※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ

※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 4 の合計人数で計算

圧倒的に「定期支援団体」内の個人に対しての食糧支援人数が多いことが分かりました。

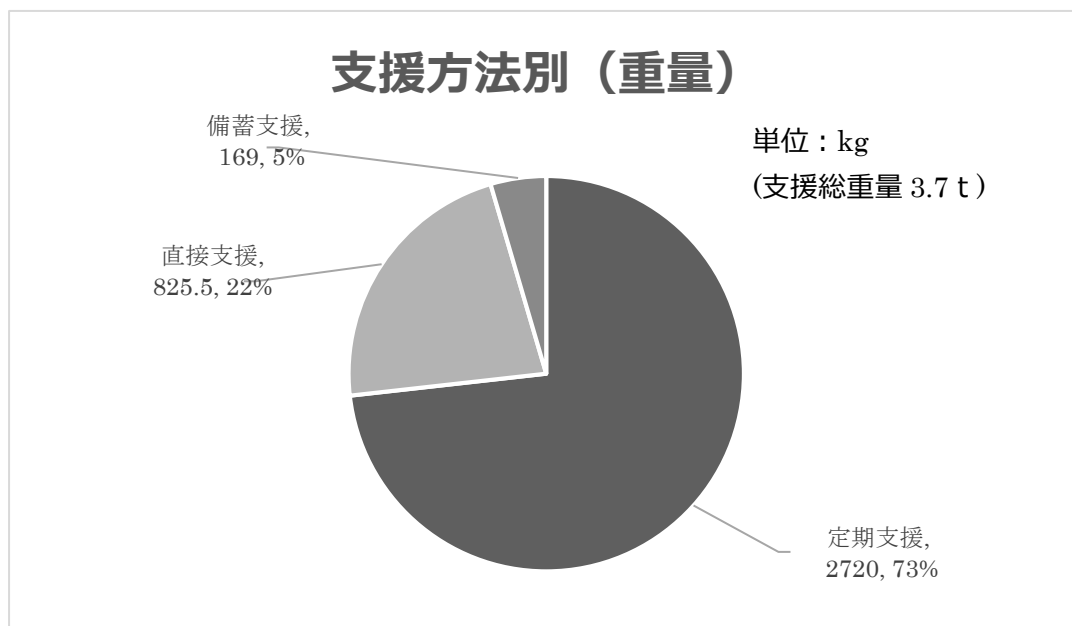
2.5 支援総重量



- ※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ
- ※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 4 の合計人数を元に計算
- ※ 個人支援の重量計算は、1 人が 4 日間食べることのできる 1 回に提供する食量(1 人分 6.5Kg で計算)
- ※ 団体支援の重量計算は、1 人あたりの 1 回の食事量(1 人分 500g で計算)

支援記録を取り始めた平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月の約半年間の 7 ヶ月間で、当団体が提供した食糧品は述べ 5,593 名の食事につながり、その総重量は 3714.5kg (3.7t) にのぼりました。

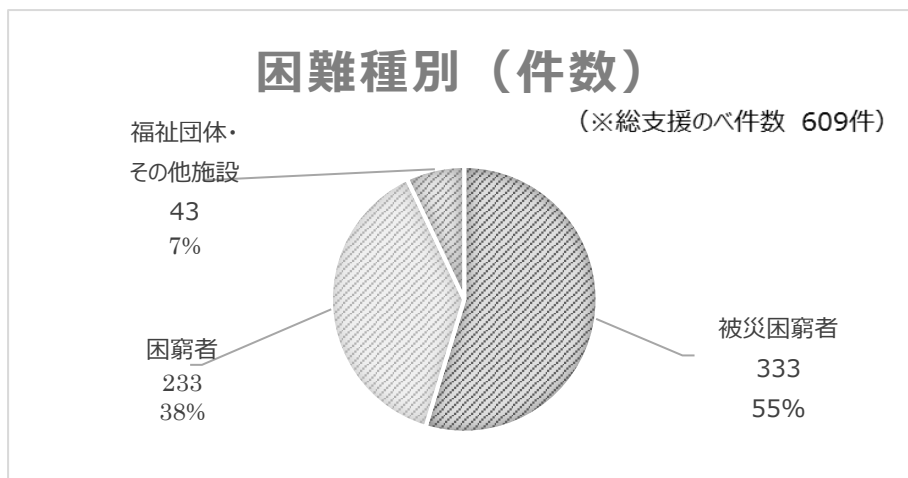
2.6 支援方法別（重量）



- ※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ
- ※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 4 の合計人数を元に計算
- ※ 個人支援の重量計算は、1 人が 4 日間食べることのできる 1 回に提供する食量(1 人分 6.5Kg で計算)
- ※ 団体支援の重量計算は、1 人あたりの 1 回の食事量(1 人分 500g で計算)

支援記録を取り始めた平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月の約半年間の 7 ヶ月間で、当団体が提供した食糧品は述べ 5,593 名への食事につながり、その総重量は 3714.5kg (3.7t) にのぼりました。「支援方法別（人数）」の割合では、直接支援が 127 名で全体の 2%、定期支援が 5,440 名の 97%でしたが、「支援方法別（重量）」の割合では、直接支援が 22%で定期支援は 73%となり、直接食糧を支援している 1 人 1 人への個人支援がしめる重量の割合が多いことが分かりました。

2.7 困窮種別（件数）

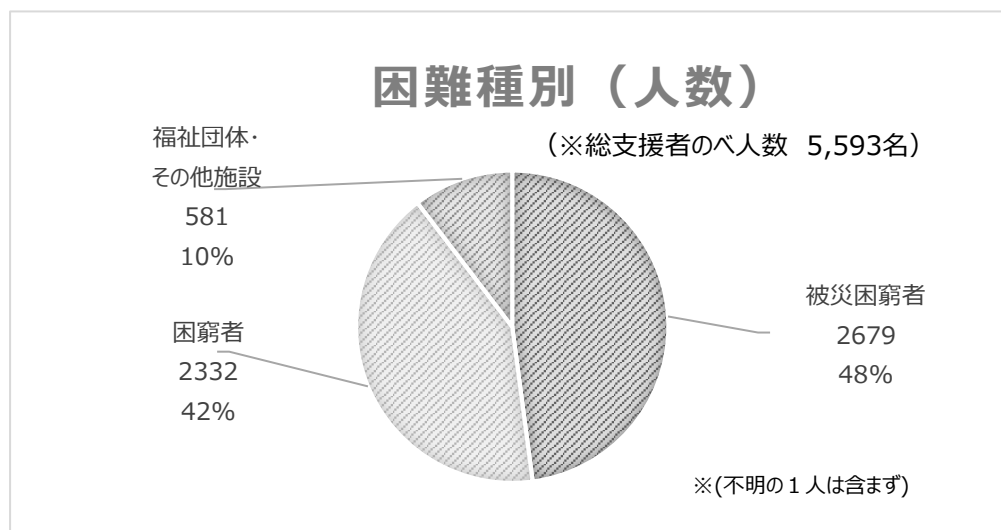


※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ

※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 3、※ 4 への支援件数で計算（3 人家族でも 1 件でカウント）

被災困窮者への食糧支援件数は半数以上の 55%にのぼりました。一方、被災はしていないが生活困窮している方への食糧支援件数は約 40%にのぼりました。このことから、生活の困窮は被災地・非被災地にかかわらず全地域で陥っていることが分かりました。

2.8 困窮種別（人数）

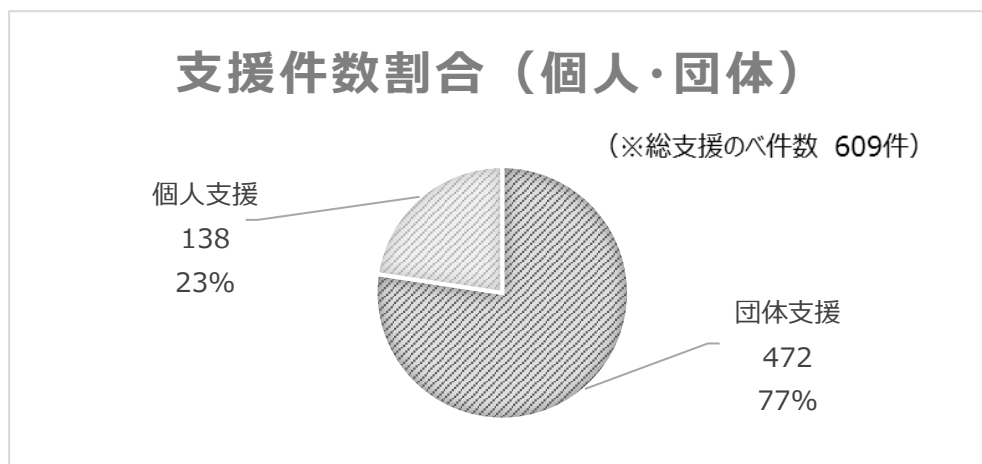


※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ

※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 4 の合計人数で計算

上記の「2.5 困窮種別（件数）」の件数割合では、被災困窮者の割合が多いですが、支援人数で見ると被災困窮者が 48%、非被災困窮者が 42%と、ほぼ同じ支援人数になっていることが分かりました。

2.9 支援件数割合（個人・団体）

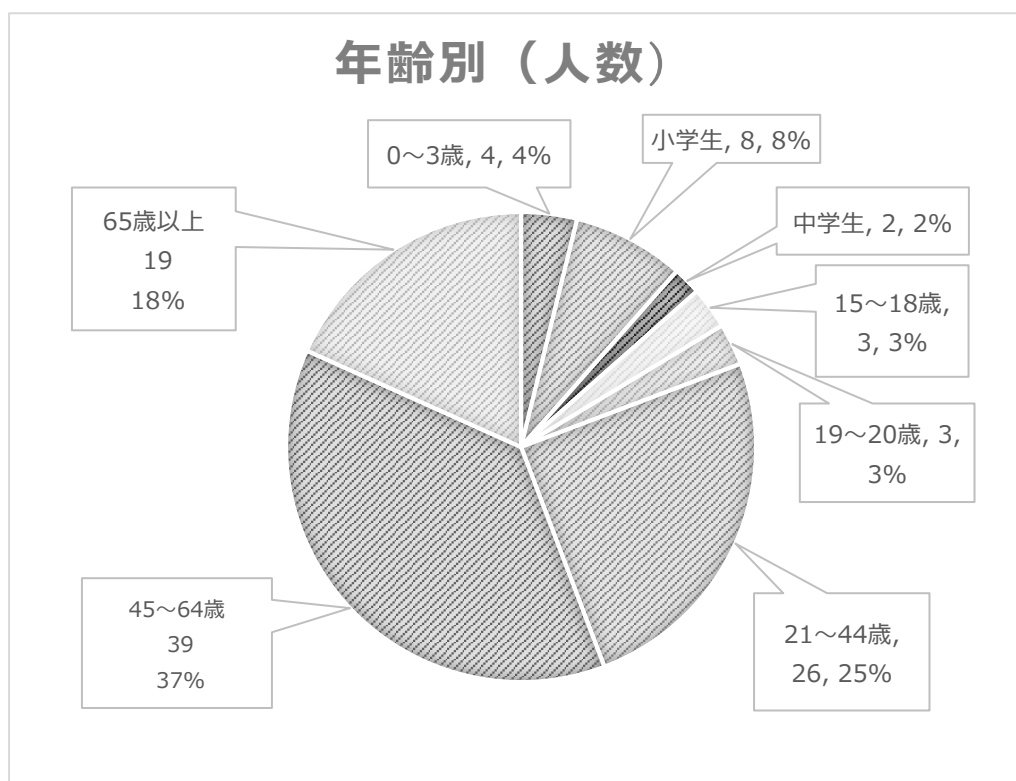


※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ

※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 3、※ 4 への支援件数で計算（3 人家族でも 1 件でカウント）

個人への食糧支援の割合が、約 1/4 にのびりました。

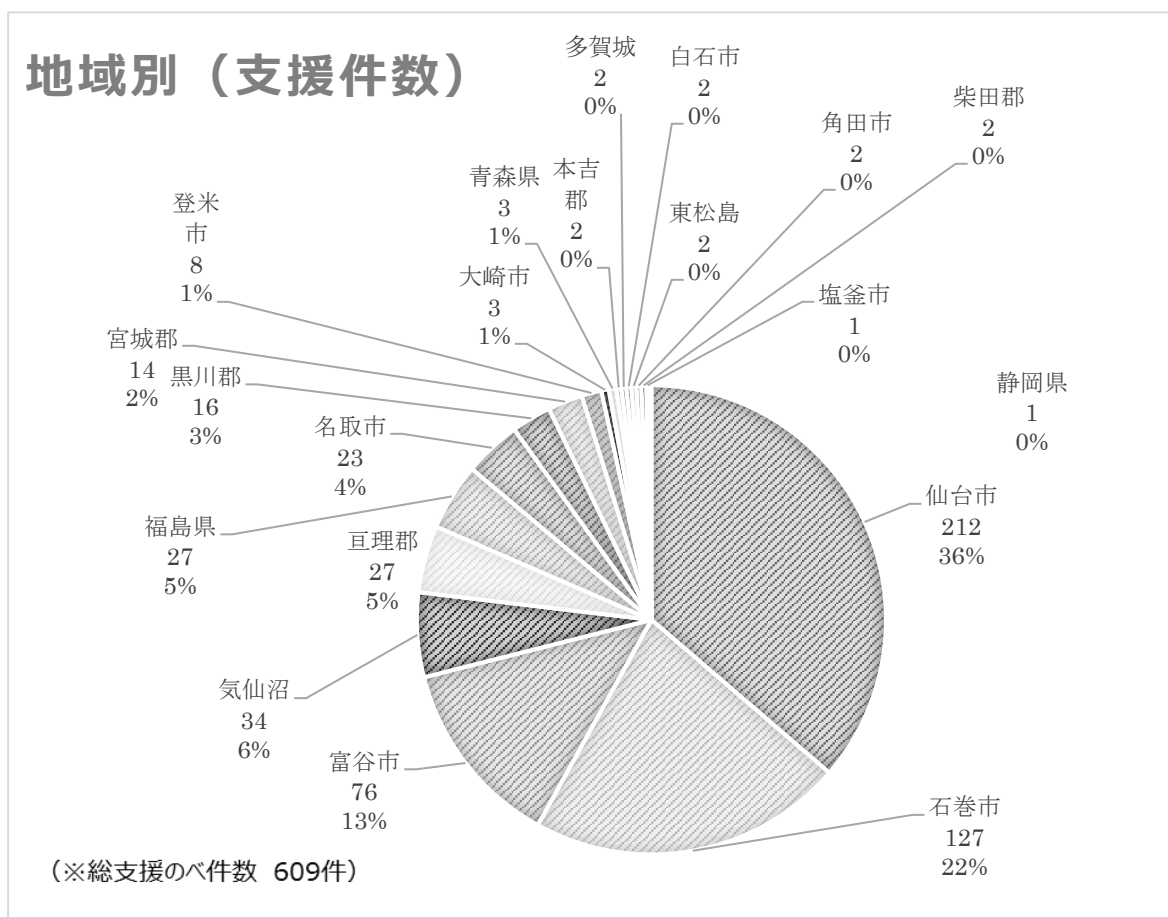
2.10 年齢別（人数）



年齢不明データも多く、また途中から本格的に家族構成も含めた年齢データ収集をおこなった為、対象人数は 104 人と少ないものの、ある程度の傾向が示されています。

一番多いのが、45～65 歳であり、特にこの年代に集中している現象は、何らかの社会的要因があるようにも考えられると思います。その次に多いのが、65 歳以上と 21～44 歳という傾向が見られ、高齢者だけでなく、世間一般では働き盛りと言われている年代も、多くの方が貧困に陥っていることが分かりました。また、家族で貧困に陥っているケースも多くあり、貧困の親の子どもも同じく貧困に陥っている、貧困の連鎖が見られます。

2.11 地域別（支援件数）

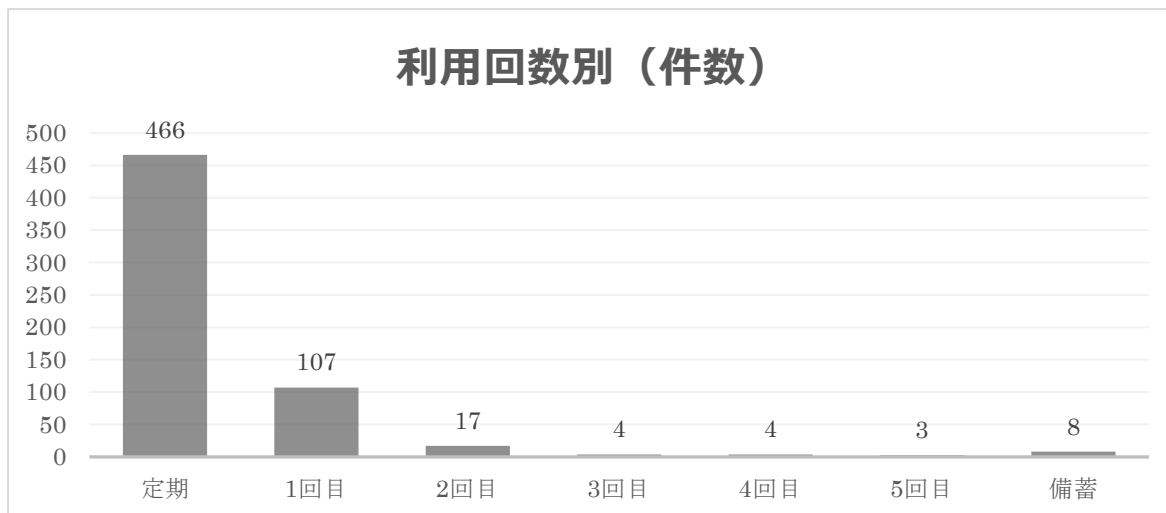


※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ

※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 3、※ 4 への支援件数で計算（3 人家族でも 1 件でカウント）

仙台市内への食糧支援が一番多く、次に被災地である石巻市への支援が多かった。また、県内の被災地としては、石巻市の他にも、名取市、巨理郡、気仙沼、登米市、宮城郡、東松島、塩釜などの被災困窮者からも同様に多くの支援要請があったことが分かりました。その他、隣県の福島県にはフードバンクが無いことから、当団体から福島県の方へも 27 件の食糧支援をおこないました。

2.12 利用回数別



※ 平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月までの 7 ヶ月間のデータ

※ 上記の図「2.1 支援方法」の、※ 1、※ 2、※ 3、※ 4 への支援件数で計算（3 人家族でも 1 件でカウント）

当団体の、これまでのやり方として原則 1 回の利用ということもあり、ほとんどの方の利用回数は 1 回となりました。ただし、ケースとしては継続的に 2 ～ 5 回支援が必要な方もおり、支援の回数だけではない、支援の仕方や支援の方法の検討は今後必要かと感じました。また、1 回の利用後、その方が、その後どのように生活しているかのデータや調査はしておりませんが、しっかりと必要な機関につながっているのか、または同じく困窮生活に戻っているのかは、これから当団体としても把握をし、支援のあり方について考えていけると良いと思います。

2.13 連携団体一覧（定期支援団体、備蓄団体）

2.13.1 定期支援団体一覧

1	チーム王冠	47	デイサービス優
2	小百合園	48	天理教
3	太白区ありのまま舎	49	富が丘あおば 20 人
4	天使園	50	富谷市サニーハイツ民生委員
5	名取植松入生仮設住宅 集会所	51	富谷市母子福祉会
6	ラサール・ホーム	52	富谷柔道スポーツ少年団
7	安心安全のまちづくり（長町復興住宅支援）	53	富谷ソフトテニス
8	名取市雇用促進愛島宿舍住宅	54	富谷町民生委員
9	わらしべ舎	55	富谷フレンズ
10	Luominen（るおみねん）	56	富谷母子福祉会
11	名取箱塚桜団地仮設住宅 集会所	57	登米、気仙沼 ひありんく気仙沼

12	NPO法人 Switch	58	ともまち登米
13	PSC大河原	59	ナックス
14	PSC 富谷	60	野のゆりホーム
15	あけの平ファイターズ	61	のびすく泉
16	あすいく	62	萌友
17	あすと長町第1復興住宅 第一集会所	63	ひありんく気仙沼
18	あすと長町第3復興住宅 第一集会所	64	日吉台キッズ (ミニバス)
19	石巻河川敷仮設住宅	65	船形コロニー
20	石巻三反走仮設住宅	66	ホープみやぎ
21	石巻市若者サポートステーション	67	松島町母子福祉会
22	石巻地域若者サポートステーション	68	まんぼう院
23	石巻はびねすプラザ	69	美田園復興住宅
24	石巻はびねすプラザ (夢広場)	70	緑のそよ風 (大崎)
25	いのちのパン	71	宮城県障害者スポーツ協会
26	大郷町母子福祉会	72	宮城県母子福祉センター
27	おりざの家	73	むつみ荘
28	カトリック正義と平和協議会 (夜回り)	74	萌友 (炊き出し)
29	キッズドア	75	萌友 (夜回り)
30	共生地域創造財団	76	茂庭台復興住宅集会所
31	気仙沼被災困窮者	77	茂庭復興住宅
32	公益財団法人宮城県母子福祉連合会	78	夜回りグループ
33	コスモス向陽台	79	レインボーオブホープ
34	さくらハイツ	80	亘理町 WATALIS
35	サニーハイツ民生委員	81	亘理町母子福祉会
36	七ヶ浜社会福祉協議会 (仮設、母子福祉会)	82	亘理町民生委員
37	仙台愛の教会	83	ワンステップ
38	仙台つばさ荘	84	ワンファミリー
39	仙台夜まわりグループ	85	気仙沼被災困窮者 (ひありんく)
40	大和町母子福祉会	86	宮城県さくらハイツ
41	多賀城・石巻被災困窮者 はびねす	87	山元町 ポリス
42	地域共生創造財団	88	成田オーシャンイーグルズ
43	チーム王冠	89	多賀城・石巻被災困窮者
44	創る村	90	特定非営利活動法人 TEDIC
45	つばさ荘	91	富谷市民生委員
46	鶴ヶ谷子ども食堂	92	富谷母子家庭グループ

計 92 団体

2.13.2 備蓄団体一覧

1	P S C
2	いのちのパン
3	ひありんく気仙沼
4	レインボーオブホープ（気仙沼）
5	ワンステップ（備蓄・炊き出し用）

計 5 団体

3 組織体制等

3.1 会員・ボランティア

3.1.1 会員数

個人正会員：18 名

法人・団体会員：11 団体

3.1.2 ボランティア数

登録者数：35 名

実働者数：8 名

3.2 役員の状況

役員選任 平成 29 年 2 月 23 日

役職名	氏名
代表理事	地主 雅信
副代表理事	立岡 学
理事	小澤 義春
理事	齊藤 きえ子
理事	白木 福次郎
理事	武田 耕嗣
理事	新沼 鉄也
理事	野崎 明
理事	矢野 由美子
監事	吉野 潤一

役員解任 平成 28 年 6 月 12 日

役職名	氏名
理事	安達 敏信
理事	大塚 憲治
理事	高橋 陽佑

3.3 事務局の状況

3.3.1 事務所移転

平成 28 年 9 月

「宮城県名取市上余田字千刈田 1019 番地 1」から「宮城県富谷市成田 8 丁目 1-1」に移転

3.3.2 事務局増員

平成 28 年 9 月 常勤 1 名 増員

平成 28 年 11 月 常勤 1 名、非常勤 1 名 増員

3.3.3 リース車両導入

平成 28 年 11 月に 1 台(トヨタ パッソ)リース車で導入

4 各種会議・イベント実施状況

4.1 フードドライブ実施

●計 2 回

1 回目：平成 28 年 10 月 1 日(土) 場所 長町駅前広場 ※アート・イン・クルージョン

2 回目：平成 28 年 10 月 20 日(土) 場所 長町駅前広場 ※世界食料デー関連企画

4.2 困窮者向け食事会実施

●計 1 回

1 回目：平成 28 年 7 月 15 日(日) 2 回実施 場所：仙台市福祉プラザ7階 創作室 20 名

4.3 通常総会

- 第 7 期 通常総会：平成 29 年 6 月 27 日(火) 19:00～21:00 会場データコム株式会社

4.4 臨時総会

- 平成 28 年度 臨時総会

日時：平成 28 年 10 月 27 日（木）19：00～21:00 会場長町遊楽庵びすた〜り

議事：議題 1 主たる事務所の変更について

議題 2 定款変更について

議題 3 平成 29 年度事業計画および予算計画について

4.5 理事会

- 計 8 回

第 1 回：平成 28 年 5 月 9 日(月) 会場データコム株式会社

第 2 回：平成 28 年 5 月 30 日(月) 19 時～21 時 会場データコム株式会社

第 3 回：平成 28 年 7 月 15 日(金) 18 時 30 分～20 時 会場データコム株式会社

第 4 回：平成 28 年 8 月 3 日（水）19 時～21 時 会場データコム株式会社

第 5 回：平成 28 年 9 月 26 日（月）19 時～21 時 会場データコム株式会社

第 6 回：平成 28 年 10 月 27 日（水）18 時 30 分～19 時 会場長町遊楽庵びすた〜り

第 7 回：平成 29 年 1 月 23 日（月）18 時 30 分～18 時 45 分 会場データコム株式会社

第 8 回：平成 29 年 2 月 27 日（月）18 時 30 分～19 時 30 分 会場データコム株式会社

5 助成金・寄付金状況

5.1 助成金事業受託

1. みやぎ地域復興支援助成金（4,551,740 円）
2. NPO 法人 WE21 JAPAN・みどり（233,000 円）

5.2 寄付金

1. 野ばらの会
2. 一般社団法人 WATALIS
3. 深野プロ（株）
4. 東北労働金庫
5. その他 個人の皆さま

計 898,284 円

以上